

令和 7 年度 第 1 回 学校運営協議会
兼 学校関係者評価委員会・コンプライアンス委員会 議事録

- 1 日時 令和 7 年 6 月 26 日（木）14:00～16:30
- 2 場所 本校会議室
- 3 司会 副校長（開会・閉会）／ 渡邊昇司 委員長（議事進行）
- 4 開会・委員選任等
 - （1）委任状の交付
 - （2）校長挨拶
 - ・ 今年度新任。教育環境の充実、生徒の学習意欲を評価
 - ・ コミュニティ・スクールの発展に尽力。7 月にグランドデザイン公表予定
 - ・ 生徒数減に伴う統廃合の議論を踏まえ、「宮北」の重要性を共有
 - ・ 地域の声を反映し、時代に即した学校づくりを推進する姿勢を表明
 - （3）学校運営協議会の趣旨説明（副校長）
 - （4）校外委員 自己紹介
 - （5）委員長選出（委員長：渡邊昇司 氏）
- 5 新校舎見学
- 6 議事（司会：渡辺氏）
 - （1）校内委員の自己紹介
 - （2）スクールミッション・ポリシーの説明（校長）
 - ア 校訓「覇気・信念・明朗」の尊重
 - イ 生徒エージェンシーに基づく探究学習を推進
 - ウ 商業科と普通科の連携強化、観光・国際理解を通じたグローバル人材の育成
 - エ グラデュエーション・ポリシーの理解と定着の重要性
 - （3）学校経営計画報告（校内委員）
 - ア 規律・礼節・規範・帰属意識を醸成し、健全な生活態度を育成する。
 - （ア） 生徒課
 - ・ 年度末アンケートでは「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーが良い」との保護者評価が 90%以上
 - ・ 今後も指導と啓発を継続
 - （イ） 保健課
 - ・ 「教職員が悩みやいじめ等の相談に応じてくれる」との生徒評価が高く、信頼関係を構築
 - ・ 特別支援が必要な生徒に対しては、7 月 1 日のケース会議を含め計画的に支援を実施
 - （ウ） 総務課 校歌斉唱時の声量向上に向け、生徒の意識啓発を推進
 - イ 探究的な学習を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

- (ア) 教務課
 - ・ 「授業が分かり、学力が向上している」という目標について、おおむね達成傾向にあり、継続方針
- (イ) 情報課
 - ・ ICT を活用した授業を実施中。新校舎での授業配信には課題があり、改善が必要
- (ウ) 図書課
 - ・ 授業公開週間を長期間実施
 - ・ 分校との合同授業、「タンタン 3 年生」の実践等が好評
- ウ 学んだ知識や技能を実際に活用した実践的な商業教育の推進
 - (ア) 商業科
 - ・ 各種検定合格率の向上に注力
 - ・ 体験入学で商業科の授業が生徒に好評
- エ 自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。
 - (ア) 進路課
 - ・ 就職指導体制の再構築中
 - ・ 国公立大学進学者は昨年度より増加し 15 名
 - ・ 進学支援に加え、企業との連携も強化
- オ 多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識・社会的資質・能力を育成する。
 - (ア) 生徒課
 - ・ 学年間を越えた探究活動を推進
 - ・ ボランティア希望者が多数いる一方、地域側の受け入れ体制が課題
 - (イ) 図書課
 - ・ 文化祭における「シークレットブック販売」が来場者に好評
 - ・ 今後も創意ある企画を展開予定
 - (ウ) 保健課
 - ・ 従来目標の概ね達成を報告
 - ・ 新たな取組の導入に意欲を示した
 - (エ) 共生共育部門
 - ・ 分校合同プランター植栽活動を 6 月 12 日に実施
 - ・ 学年間の教職員連携強化を目指す
 - (オ) 管理職
 - ・ 「ランチミーティング」を継続実施し、生徒の自己肯定感向上を図る
 - (カ) 生徒課（私服期間関連）
 - ・ 7 月 2 日から柔軟な服装期間を設定し、TPO に応じた服装選択

を促進

- ・ 熱中症対策と生徒の主体性を両立する取組

カ 外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。

(ア) 総務課

- ・ 危機管理マニュアル読み合わせやマンホール研修の計画
- ・ 防災訓練では生徒の真剣な姿勢と高い防災頭巾携行率を報告
- ・ PTA 活動が活発で、学校全体の盛り上げに貢献

(イ) 教務課

- ・ 中学生対象の体験入学や学校説明会を丁寧に実施予定

(ウ) 管理職

- ・ 地域中学校への丁寧な説明を継続し、信頼性を向上させる広報活動の重要性を指摘

(エ) 総務課（広報）

- ・ Instagram の投稿数が 500 件超、閲覧者数 1,500 人程度
- ・ 生徒による動画作成を通じて、生徒目線での魅力発信を展開
- ・ 学校 HP は令和 6 年 9 月にリニューアル。特に 12 月～3 月のアクセスが多い傾向にある

キ 教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員資質の向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する。

(ア) 図書課

- ・ 校内研修の充実に意欲を示した

(イ) 保健課

- ・ 全教室に消毒液を設置済。WBTC 対応にも細心の注意を払っている

(ウ) 事務部

- ・ コンプライアンス遵守の意識を強化し、適正処理を継続
- ・ 生徒・教職員双方の保護を意識した体制を確立

ク 教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む

(ア) 管理職

- ・ ICT 活用による業務効率化を推進
- ・ C-ラーニングを本年度より導入し、出欠管理をデジタル化
- ・ 「最終退出時間 20 時」の働き方改革方針を提言
- ・ 学年報告

(4) 1 年生：明るく安定した生活を送っている

(5) 2 年生：落ち着きが出てきており、修学旅行を経て主体性も向上

(6) 3 年生：進路実現に意欲的で、部活動でも東海大会出場など成果が見られる

(7) コンプライアンス対応報告（副校長）

- ・ 重大な不祥事はなし
- ・ 軽微な苦情対応があったが、丁寧に当事者の話を聞き対応済
- ・ 校内ルール of 明示や教員間の共通理解に努めていることを報告

(8) 質疑応答・意見交換 (発言要旨)

ア 犬塚委員

- ・ 『こや通信』の取組が好印象
- ・ 部活動の活発さは特色だが、教員の負担が懸念される
- ・ 校長の生徒への誠実な姿勢が伝わってくる

イ 渡邊委員長・校長

- ・ 中学校で進む部活地域移行化は高校では難しく、富士宮4校で部活動の精選に取り組むも社会的課題が障壁

ウ 牧委員・加藤委員・市川教諭

- ・ 高校生へのAED講習の導入を提案(命を守る教育の視点)
- ・ 現実的な訓練(心肺蘇生等)も含め、消防との連携で実施可能
- ・ すでに保健授業、希望制訓練、教員向け定期講習あり

エ 加藤委員・渡邊委員・多田先生

- ・ Instagram等の広報活動は学校の雰囲気が伝わり好印象
- ・ 私服登校の意義(TPO、気候対応等)を全校集会、生徒会、保護者・報道機関に丁寧に発信予定
- ・ 県内でも稀な取組であり、注目の可能性もある

オ 若松委員

- ・ 「共生共育」の理念を生徒自身が理解し、実感できるようにしたい
- ・ 幼稚園から高校まで一貫したインクルーシブ教育の視点を大切に、安心できる学びの場を整備したい

カ 牧委員・多田教諭・渡邊委員

- ・ 地域側のボランティア受入体制に課題あり
- ・ 学校側案件把握に加え、地域側からの情報提供を期待
- ・ 生徒の自己有用感を高める機会創出を継続的に図るべき

(9) 総括：渡邊委員長

- ・ 本校では「生徒エージェンシー」「インクルーシブ教育」「国際教育」など、現代に即した実践が数多く展開されており、今後が非常に楽しみであると述べられた

7 閉会(副校長)